

週刊 SSH（6月16日）

「ITER 講演会（フランスからオンラインによる講演会）」

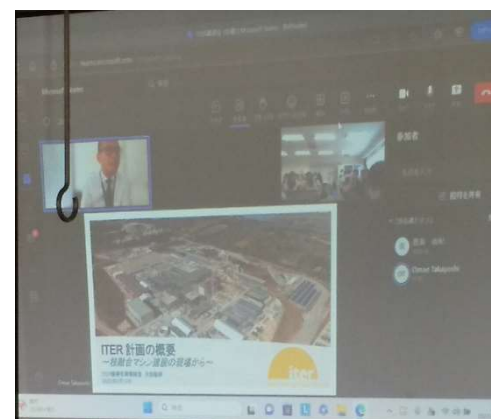
（フランスに建設中の核融合エネルギー施設）

「ITER（イーター）」は、平和目的のための核融合エネルギーが科学技術的に成立することを実証する為に、人類初の核融合実験炉を実現しようとする超大型国際プロジェクトです。「International Thermonuclear Experimental Reactor（国際熱核融合実験炉）」が「ITER」の語源ですが、「ITER」はラテン語で道という意味を持ち、核融合実用化への道・地球のための国際協力への道という願いが込められています。ITER計画は、2025年の運転開始を目指し（2016年6月ITER理事会で決定）、日本・欧州・米国・ロシア・韓国・中国・インドの7極により進められています。今回はITER建設サイトである南フランスのサン・ポール・レ・デュランスから放課後、物理講義室においてオンラインで戦略責任者である大前 敬祥氏（ITER首席戦略官）に講演をして頂き、SS生徒40人が参加しました。

ITER計画の目標は、50万キロワットの核融合出力を長時間に渡って実現し、核融合エネルギーが科学・技術的に実現可能であることを実証することです。ITERは、将来の発電炉に不可欠な主要な技術をすべて含んでいます。ITERの目的の一つは、核融合炉の安全性及び環境性からみた潜在的利点を実証することです。ITERは、1) 核融合反応は暴走しない、2) 高レベルの放射性廃棄物が出ない、などの核融合炉固有の安全性を持っています。ITERの運転を安全に行うため、これらを踏まえた安全設計と安全評価を並行して進めています。

最先端の技術を世界で共有し合い進めていくというプロジェクトについて何がどれくらいすごいのか？どれほど大変なのか？写真や動画を交えながら分かりやすく説明していただきました。世界で共有して行く意義についても話ししてくれました。

質疑応答の時間も十分にとって頂き、高校生の素朴な疑問にも分かりやすく答えて頂きました。フランスとの時差のある中で早朝から講演をして頂きましてどうもありがとうございました。このような講習会を通して、新しい技術について理解を深め、幅広い知識や国際的な視野を得ることが出来たと思います。



講演の様子